

にしじんこうぼう 西陣工房だより

社会福祉法人 京都西陣福祉会
障害者多機能型事業所 西陣工房
〒603-8333 京都市北区大將軍東鷹司町 109-1
☎(075)462-9101 Fax(075)468-9122 mail info@nishijinkoubou.com



今津港（琵琶湖周航の歌記念碑）R6.8.12

【9月の予定】

- 9月7日(土)ウクレレサークル 10時～12時
- 9月21日(土)西陣工房設立20周年を祝う会（西陣工房）
- 9月23日(月)～25日(水)西陣工房20周年記念研修旅行(東京)
- 9月29日(日)京都府民総合体育大会 卓球バレーの部(京都市障がい者教養文化体育会館)

【来月以降の予定】

- ◆10月20日(日)全国障害者総合スポーツ大会(佐賀県)
- ◆11月2日(土)FUNAOKAスタンダード(船岡山公園)
- ◆令和7年4月29日(昭和の日)第1回西陣工房ウクレレコンサート(京都府民ホールアルティイ)

※8/30(金)保護者会親睦会(食事会)の予定でしたが台風のため中止・延期になりました。ウクレレサークルも8/31(土)10時～12時 台風のため中止とします。



●9月7日(土)ウクレレサークル 10時~12時

9月のウクレレサークルは西陣工房設立20周年を祝う会で披露する「カノン」と「もみじ」を中心に練習します。各自でしっかり練習しておいてくださいね。保護者のコーラス練習日は9月4日(水)、9月18日(水)18:30~19:30 西陣工房です。保護者の方々よろしくお祈いします。



●9月21日(土)西陣工房設立20周年を祝う会 (西陣工房)

西陣工房は平成16年9月に知的障害者デイサービス事業所として大將軍川端町の旧施設で開所しました。本年9月で満20年になります。それを記念して、祝う会、卓球バレー大会、記念研修旅行、ウクレレ演奏会の記念事業を行います。

祝う会は文字通り、20年の節目を迎えて、その歩んだ日々を振り返り、さらなる目標を定めて、それに向かってみんなで協力して頑張ろうと意思統一する場でありたいと考えています。松井京都市長にぜひご参加いただきたいと要請していましたが、残念ながら午前中なら参加できるかも知れないという回答で、必ず参加するという確約がいただけないまま、タイムリミットが来てしまったので以下のとおりご案内する次第です。

【西陣工房開設20周年を祝う会】

【日 時】 9月21日(土)10時半~12時(受付開始10時~)

【会 場】 西陣工房ランチルーム

【参加者】 利用者、保護者、職員、来賓(行政、福祉関係者など)

【内 容】 各界から参加の来賓のごあいさつ

20年の歩みと現在

表彰式

記念演奏

以上、盛大なる宴会を行うわけではありませんが、沢山の関係者にお集まりいただき、20年間の成果を祝い、その苦勞をねぎらい、さらなる発展を期する会です。利用者、保護者共々、沢山のご参加をお祈いいたします。

●9月23日(月)~25日(水)西陣工房20周年記念研修旅行(東京)

西陣工房の20周年記念旅行は19名の利用者が参加されることになりました。西陣工房の合宿としては初めての東京です。皆さんが楽しみにしているディズニーランド、スカイツリー、国会議事堂等を満喫しましょう。日程については後日しおりを配ります。合宿の費用は9月27日に引き落としさせていただきます。合宿に参加されない利用者はいつも通り作業します。休みではないですので間違わないようにお祈いします。

●9月29日(日)京都市民総合体育大会 卓球バレーの部(京都市障がい者教養文化体育館)

府民総体は京都市下各市町村の代表チームが京都市チャンピオンを競う、国体の京都市版とも言うべき、一般のスポーツ大会です。西陣工房は京都市北区の代表として2チーム出場です。京都府チャンピオンを目指します。チームに健常者2名が必ず入らなければなりませんので沢山出場できません。選抜チームを組みますので、選ばれた方は参加をお祈いします。

せんげつ
【先月のできごと】

- 8月3日(土)ウクレレサークル 利用者15名参加
- 8月12日(月)リクレーション(竹生島と長浜黒壁スクエア散策)利用者18名参加
- 8月14日(水)～8月16日(金)は夏休みです。
- 8月16日(金)大文字鑑賞会&食事会 利用者21名参加
- 8月25日(日)佛教大学大谷ゼミ&西陣工房コラボ企画(組みひも体験&卓球バレー大会)

●8月12日(月)リクレーション(竹生島と長浜黒壁スクエア散策)利用者18名参加

我々が愛唱している琵琶湖周航の歌の4番で、「瑠璃の花園珊瑚の宮 古い伝えの竹生島」と歌われている竹生島に行ってきました。竹生島は琵琶湖の北部、近江今津から長浜を結ぶ直線の丁度中央にある琵琶湖で2番目に広い無人島ですが、島には平家物語にも出てくる宝厳寺があり、観音様と弁天さんが有名な歴史と信仰の島です。円町を出発して1時間ほどで湖西線近江今津駅に到着。今津港から船で竹生島に上陸。宝厳寺の境内を2時間程度散策してまた船に乗り、今度は琵琶湖東岸の長浜へ。ここは豊臣秀吉ゆかりの町で、春には祇園祭のような豪華な山車の曳山と子供歌舞伎が繰り出される曳山祭が有名です。曳山が展示してある会館を見学して、今度は琵琶湖東岸の北陸本線と東海道本線経由で帰りました。宝厳寺は階段がたくさんあって急でした。そしてこの日もかなり暑い日でした。

●8月16日(金)大文字鑑賞会&食事会 13時～21時 利用者21名参加

焼き肉とセットで恒例となった大文字鑑賞会。今年は昼から9月21日の20周年を祝う会の記念演奏に向けたウクレレの練習。少し疲れたところで、今年大きな話題となった映画「ゴジラー1.0」を食堂で鑑賞しました。終わってから白梅町へ移動してチファジャで焼き肉を食べて、西陣工房に戻って大文字の鑑賞となりました。

8月も後半に入り、夜はやや涼しさが感じられたり虫の音が聞こえて来るようになりました。久しぶりに夜空をゆっくりと見渡して、送り火や星や夜景を見ながら、来月やって来る20周年関係の諸事業が成功することをお祈りしました。これも京都ならではのですね。

●8月25日(日)佛教大学大谷ゼミ&西陣工房コラボ企画(組みひも体験&卓球バレー大会)利用者19名参加

組紐に関心のある佛教大学の学生さんとのひよんな出会いから、組紐と卓球バレー大会という奇妙なイベントを開催することになりました。組紐と卓球バレーという異なった中味でしたが、いずれも西陣工房が行っている得意な内容とあって、その活気が参加者に届いたのか大いに盛り上がった1日でした。保護者の方も卓球バレーご苦労様でした。午前中の組紐体験会は、学生さんも講師となつて、20人くらいのお客さんに対してストラップ作りの体験を実施しました。お客さんは主に大学、卓球バレーの関係者やその子供たちで、仲間内ということで大いに賑わいました。午後は第1回西陣工房卓球バレー大会。京都卓球バレー協会から公式審判員4名に来てもらい、参加7チームでの総当たり戦となりました。

障害者のチームに健常者のチーム、初めてのチームにベテランのチーム、若者のチームに年配者のチーム、様々なチームとの出会いと試合を楽しみながら、勝つては喜び、負けては悔しがりながら、各チームがそれぞれ相手を変えて6試合ずつを楽しめた実に中味の濃い大会でした。

予想以上の大盛り上がりたくさんの初体験者があつたのは実に画期的なことで、卓球バレーの普及の為にも、今後も続けて行きたい企画だと思ひます。

さぎょう クラフト作業(縫製)

今回は縫製作業の下準備についてお話ししたいと思います。製品作りというイメージを使
ってたくさんの製品が出来上がってくるというイメージだと思えますが、製品が出来上がる
までの工程の大半は下準備です。準備6割ミシン3割仕上げ1割というところでしょうか。
下準備の出来次第でミシン作業の進み具合が左右されるとも大切な作業なのです。

まず一つ目の下準備は生地したじゆんぴの型取りかたとです。生地には表裏縦横おもてうらたてよこが
あり作る製品によって型取りする方向が違います。間違えるとそ
の生地は使えなくなり新しく型取りし直さないといけないため注意
が必要です。生地かたに型紙かたがみを平行直角へいこうちよくかくに合わせて型取りし合印あひじるしも忘
れずに書き込みます。それを表地・裏地・接着芯せつちやくしんと主に3種類取りま
す。それぞれに違う方向で型取りする場合があります間違えないよう
注意しながら作業を進めていきます。



【型取り作業】



【糊付け作業】

次の工程は糊付けかたとです。型取りした線せんの上を糊うえでなぞって
いく作業なのですが、この工程は糊の入っているボトルの
力加減ちからかげんが難しいようで綺麗きれいにできる人は少ないです。糊
がおおくてもすくなくともふごうかくふごうかくこの作業はたくさんの利用者
が出来るようになってもらえることが当面の課題です。

最後は裁断さいだんです。生地は切ってしまうと取り返しがつきません。
切る前に間違いないか確認し型取りした線上せんじょうを正確せいかくに切ること
が大切です。集中力のいる作業です。ハサミの使い方を間違えて
しまうと綺麗に切ることができません。
この作業もたくさんの利用者が出来るようになってほしい作業です。



【裁断作業】

このようにいろいろな人の手を介してやっとミシン作業にたどり着きます。もちろんミシン作業はと
ても難しくできる利用者は限られています。そんな高度なことができる利用者でも下準備がきち
りと出来ているかいないかで出来上がりに随分の差がでます。きっちりと準備ができてい
る物はスムーズに縫うことができますが、いい加減な作業がしてある物は縫うことがとても
難しいです。一つ一つの作業を丁寧ていねいにすることが大切で、それが製品作りのスピードアップにも繋がります。
日々丁寧な作業を身に着け作業の上達を目指していきましょう。(長橋)